

政治・経済 (Politics and Economics)		3年・通年・2単位・必修 機械工学科、電気工学科、電子制御工学科、 情報工学科 担当 木村 倫幸
[進学士課程 (本科1-5年) 学習教育目標 (1)]	[システム創生工学教育プログラム 学習・教育目標]	[JABEE 基準]
<p>[講義の目的]</p> <p>工業の専門科目にも政治と経済は密接な関係を有している。というのも現代社会では、グローバル化の中で、国内政治・経済と国際政治・経済が互いに浸透しあいつつ形成されており、科学技術もこの構造に組み込まれ大きな影響を受けているからである。それ故将来に技術者となっていく学生諸君も、この状況についての知識が不可欠である。</p> <p>本講義では、現代社会を形成している政治的経済的構造を性格に理解するとともに、それらをもとにして自分のよって立つ視点を確立するための総合的な思考の能力を養う。</p>		
<p>[講義の概要]</p> <p>現代社会の基本的な政治的経済的諸問題を取り上げ、その構造と方向性等を理解する。そして宗教・人種・民族・歴史等を踏まえた多角的な視点から、現代社会を見ていく眼の複雑さを理解する。</p>		
<p>[履修上の留意点]</p> <p>個々の情報の収集能力、理解能力の拡大のみならず、これらの知識を総合し、具体的なものへとしていく習慣づけが重要である。</p>		
<p>[到達目標]</p> <p>前期中間試験：民主政治の基本原則、統治制度の仕組みを理解する。 前期末試験：平和主義、基本的人権の意義と仕組み、国際社会における法と国際機構の意味を理解する。 後期中間試験：現代経済の仕組み——経済主体間の取引関係、市場経済の構造とそのメカニズム、金融市場の構造と金融政策を理解する。 学年末試験：経済のグローバル化と地域経済統合、国際金融システム、およびわが国の経済発展の過程を理解する。</p>		
<p>[評価方法]</p> <p>定期試験成績 (80%) にレポート等 (20%) を含めて総合評価する。</p>		
<p>[教科書] 「高校政治・経済」(実教出版、宮本憲一ほか9名) [補助教材・参考書] 参考図書については、講義中に、適宜指示する。 また資料としてプリントを配布する。</p>		
<p>[関連科目・学習指針]</p> <p>「地理」、「歴史」との関連が深い。また高学年で学習する「人文科学総合」とも密接な関連がある。</p>		

講義項目・内容

週数	講義項目	講義内容	自己評価*
第1週	はじめに	政治と経済を学習する必要について考える。	
第2週	民主政治の基本原則	人間が社会的存在として「政治」を行い、その中で民主主義、人権が定着していった過程を考察する。	
第3週		市民革命で成立した近代市民国家による民主政治を理解する。	
第4週		世界の政治体制の違いを理解し、20世紀の民主政治の課題を探る。	
第5週	日本国憲法の基本的性格	日本国憲法の成立過程とその意義を考える。	
第6週		日本国憲法の「平和主義」についてその現代的な意味を理解する。	
第7週		日本国憲法における基本的権の保障について考え、人権に関わる現実社会の諸問題について理解する。	
第8週	日本の政治機構	日本の政治機構のしくみを理解する。	
第9週		国会、内閣の機構と権限について理解する。	
第10週		司法権の独立と地方自治の意義について理解する。	
第11週	現代日本の政治	戦後日本の政治過程と現在の課題について考察する。	
第12週		日本の選挙制度のしくみと課題について考察する。	
第13週		行政機能の優位と世論・政治参加について考察する。	
第14週	現代の国際政治(I)	国際政治の特質と国際法の特徴について理解する。	
第15週		国際連合のしくみと果たしている役割、現代の過大について理解する。	
前期末試験			
第16週	現代の国際政治(II)	第2時世界大戦後の国際政治の過程(冷戦～グローバリゼーション)を理解する。	
第17週		国際平和と地域紛争の諸課題について考察する。	
第18週		国際社会と日本の果たす役割について考察する。	
第19週	現代社会の変容	経済活動と経済社会について理解する。	
第20週		資本主義経済の一般的特徴について考察する。	
第21週	現代経済のしくみ	企業活動と市場機構について理解する。	
第22週		国民所得と経済成長について考察する。	
第23週		金融と財政のしくみを理解する。	
第24週	現代経済と福祉の向上	日本経済の発達と産業構造の変化を理解する。	
第25週		日本の中小企業と農業の問題を考察する。	
第26週		国民の暮らし・物価、環境保全・公害の防止を考察する。	
第27週		労使関係と労働条件の改善、社会保障の役割について理解する。	
第28週	世界経済と日本	商品・資本の流れと国際収支について理解する。	
第29週		資本主義世界経済の展開について理解する。	
第30週		発展途上国の経済と日本経済の国際化について理解を深める。	
学年末試験			

* 4：完全に理解した， 3：ほぼ理解した， 2：やや理解できた， 1：ほとんど理解できなかった， 0：まったく理解できなかった。
(達成) (達成) (達成) (達成) (達成)